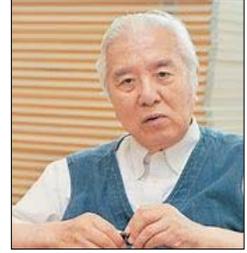




福島原発 事故後の状況



安齋育郎(国際平和ミュージアム・名誉館長)

1940年、東京生まれ。4歳～9歳、福島県二本松に疎開。東大工学部原子力工学科卒、工学博士。東大医学部助手、東京医科大学客員助教授を経て、1986年、立命館大学経済学部教授、88年、国際関係学部教授。1995年より国際平和ミュージアム館長、2008年より終身名誉館長。2011年、安齋科学・平和事務所を開設。専門は「放射線防護学」、「平和学」。

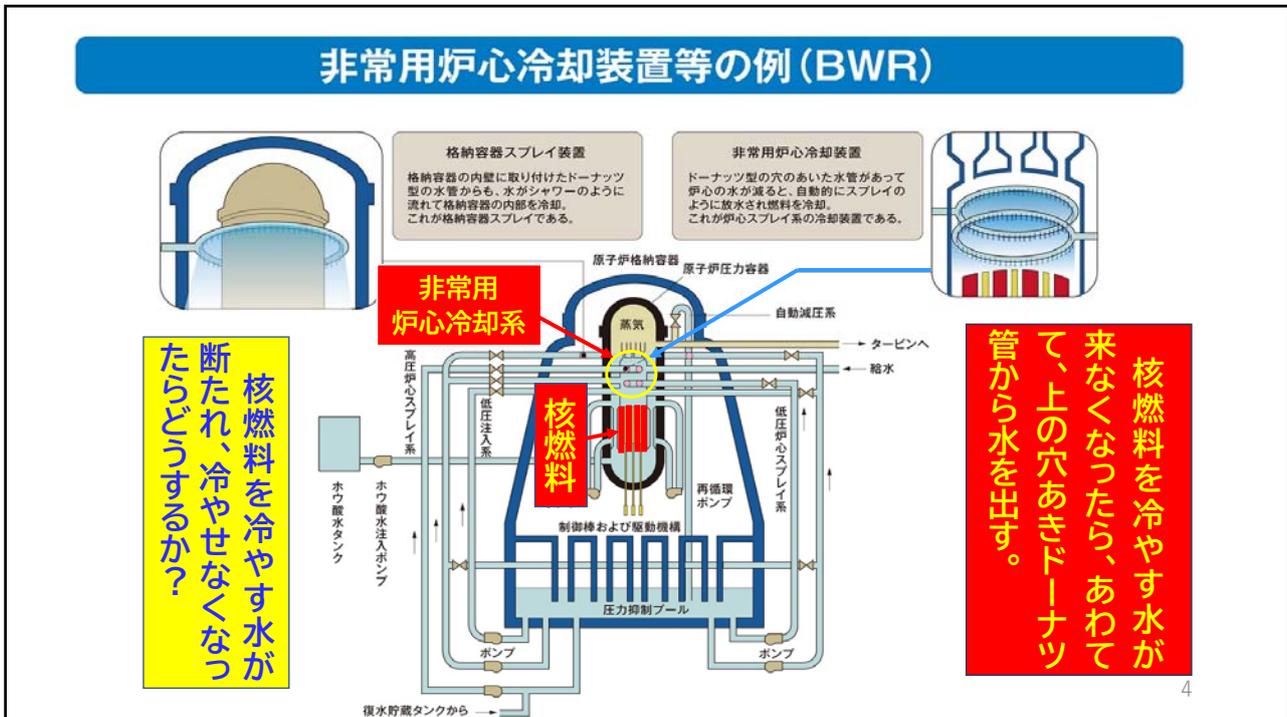
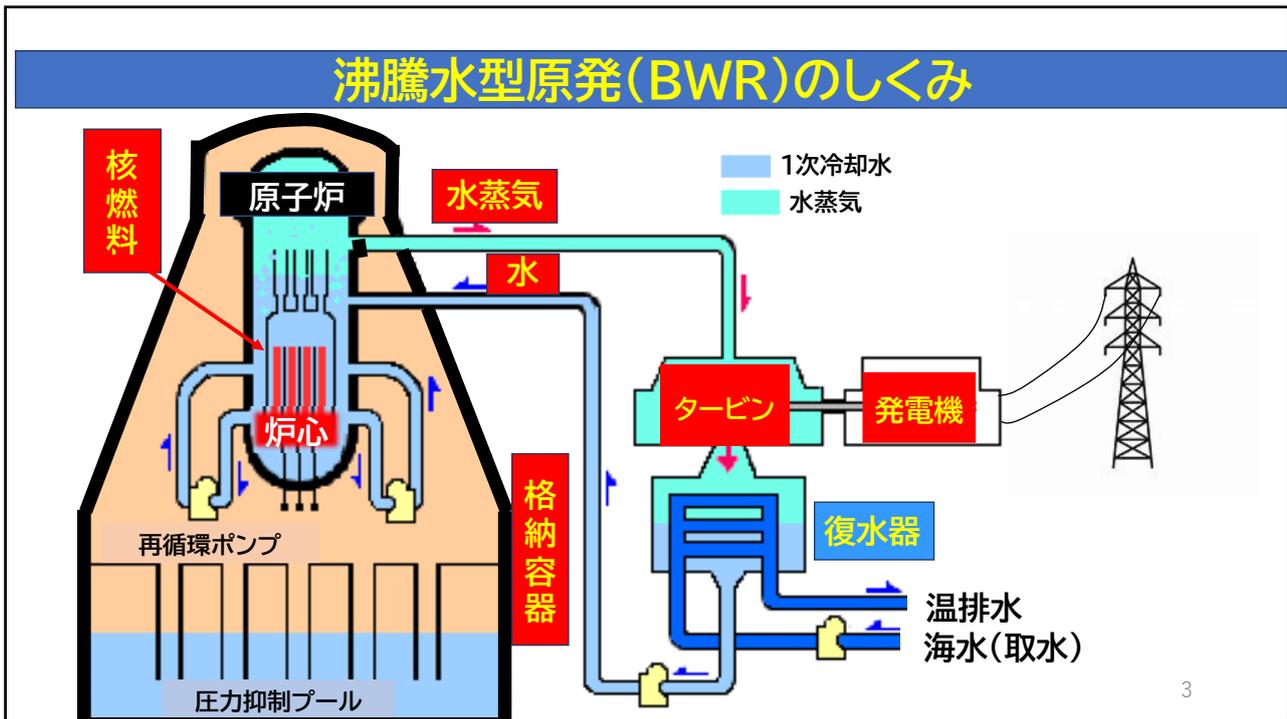
「福島プロジェクト」を立ち上げ、福島市・伊達市・二本松市・郡山市・相馬市・南相馬市・いわき市・本宮市・檜葉町・富岡町・川俣町・浪江町・飯館村など福島各地で80回以上の調査・学習・相談活動に取り組む。

2021年3月11日、ウィーン・ユネスコ・クラブより「地球市民賞」受賞。

1



10年前、大事故をお起こした福島第1原発



福島第1原発事故では

地震で送電線が倒れ、津波で非常用ディーゼル発電機が水没して、
発電所なのに電気がなくなった！



測定器も、照明も、冷却装置も、何もかも
使えなくなった

5

原発は危機的状態になった

核燃料が**溶融**し、
高温の核燃料と水蒸気が反応して
大量の**水素ガス**が発生した

水素爆発

超高温マグマ
(燃料デブリ)

6

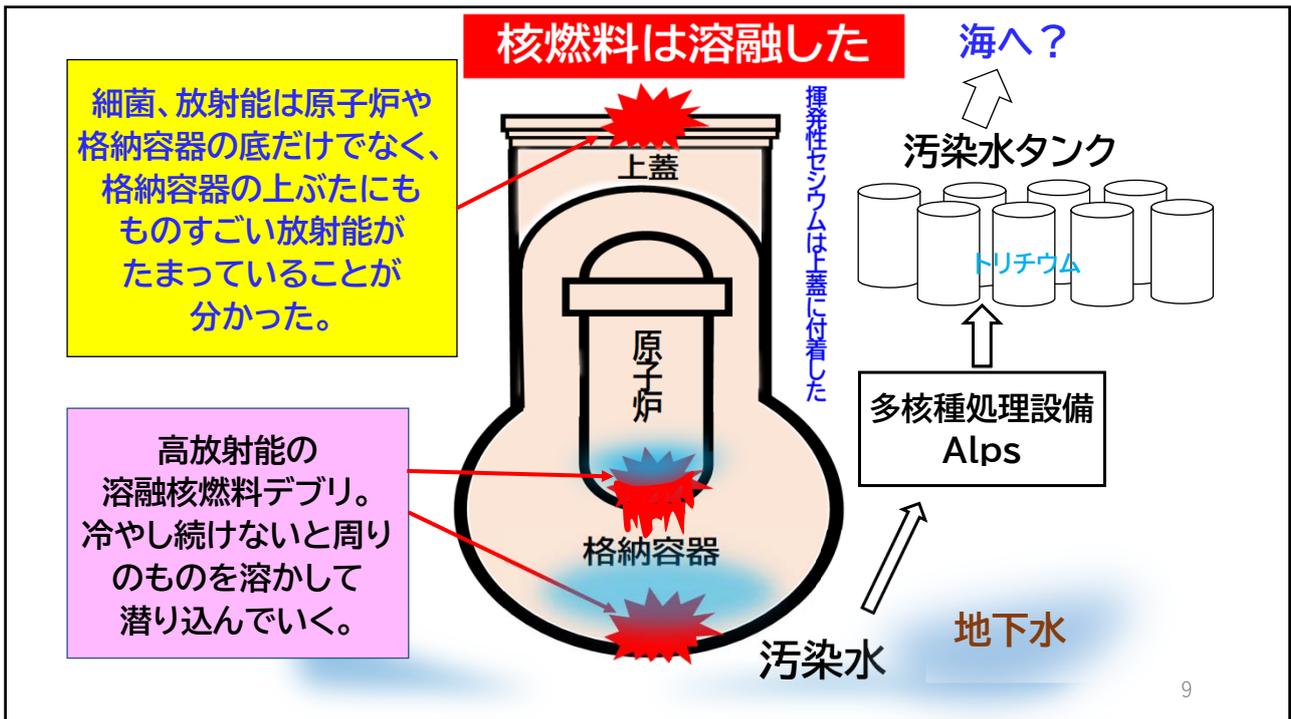
水素ガスは激しく爆発した

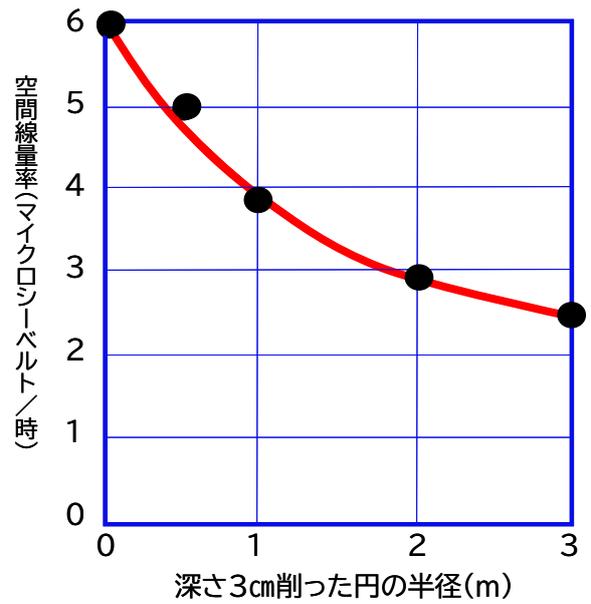
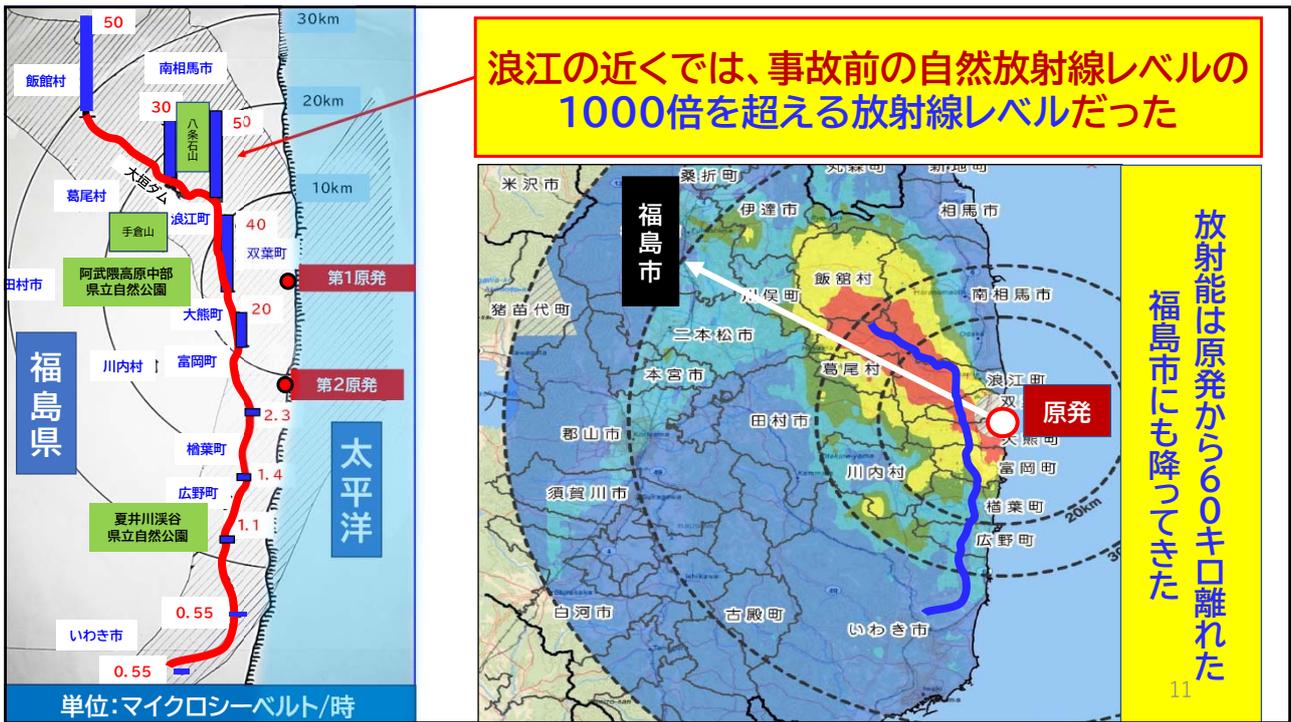


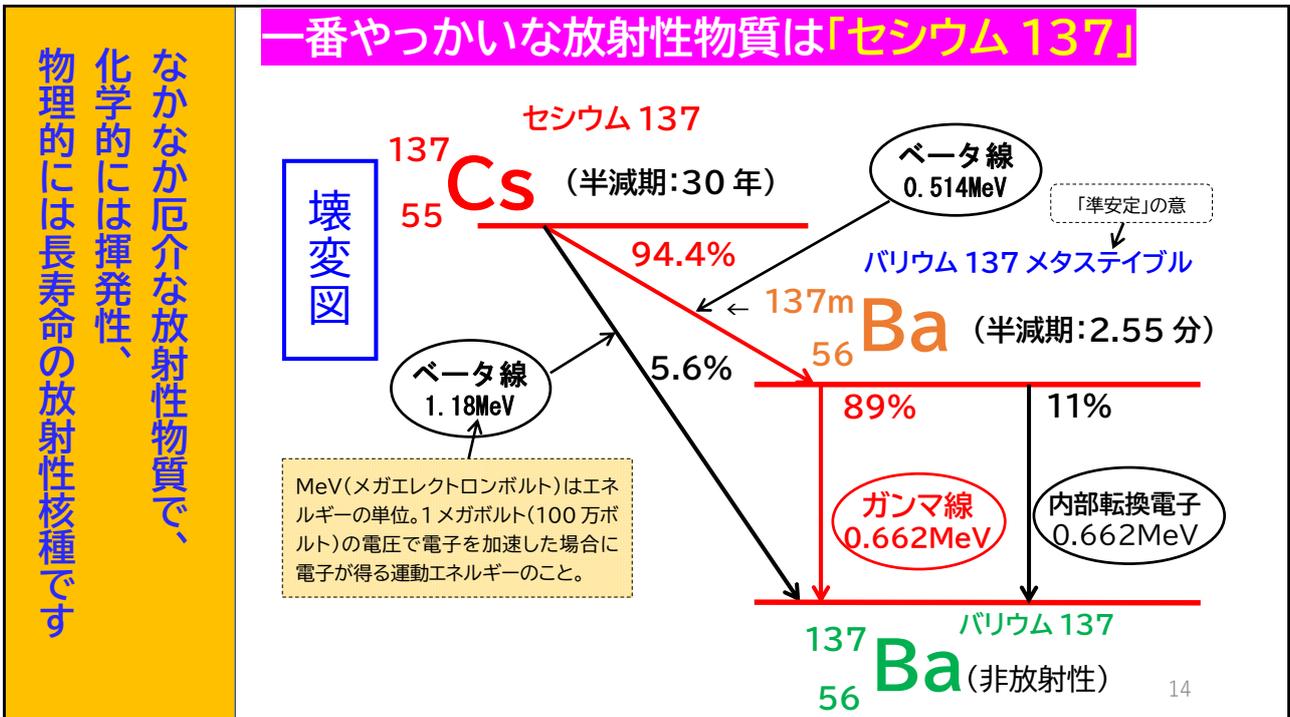
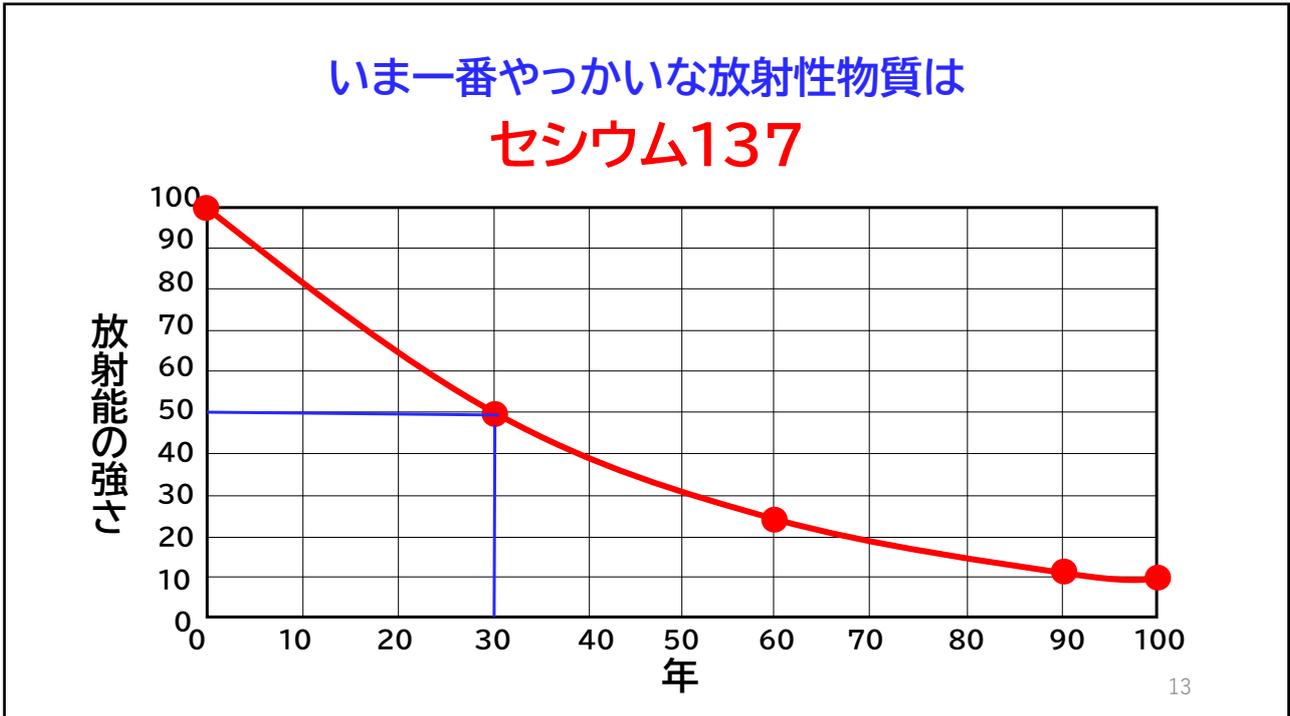
原発の建屋はボロボロになった

この写真を見たときはホントに心配な事態でした！









覚悟すべきこと

1. 科学がいくら進歩しても、放射能を消す薬は原理的に出来ない。
2. セシウム 137 の放射能が 1/10 に減るには 100 年かかる。

15

放射能はどこにあるか？

- ① 水と同じく放射能は雨で低地に集まる



16

放射能はどこにあるか？

② 排水溝に届いていない雨どいの出口周辺



17

放射能はどこにあるか？

③ ザラザラ、ケバケバ、モジャモジャの場所



18

放射能はどこにあるか？

④ 水の流れの悪い側溝



19

放射能はどこにあるか？

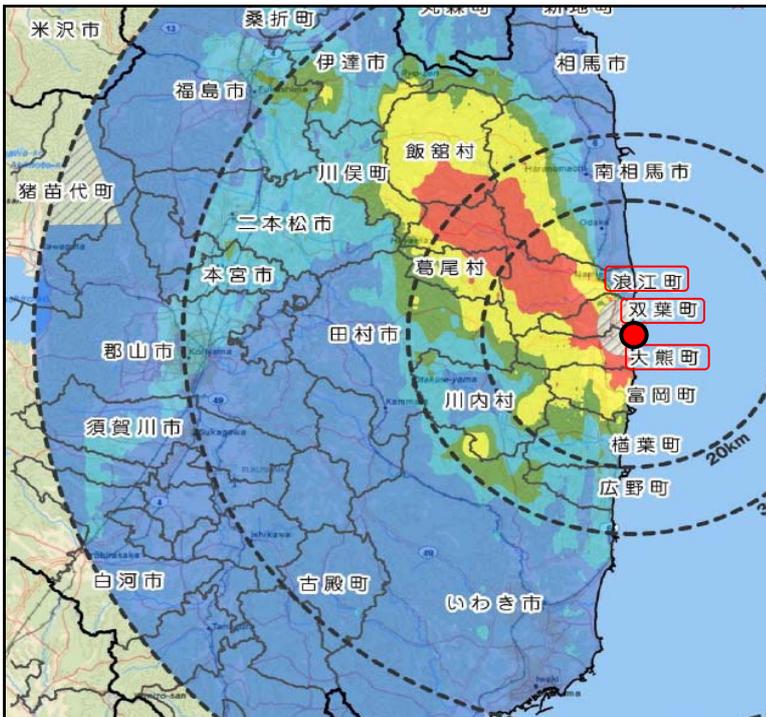
⑤ 汚染した杉の葉が落ちて腐葉土化した山肌



放射線被曝を減らす 4 つの方法

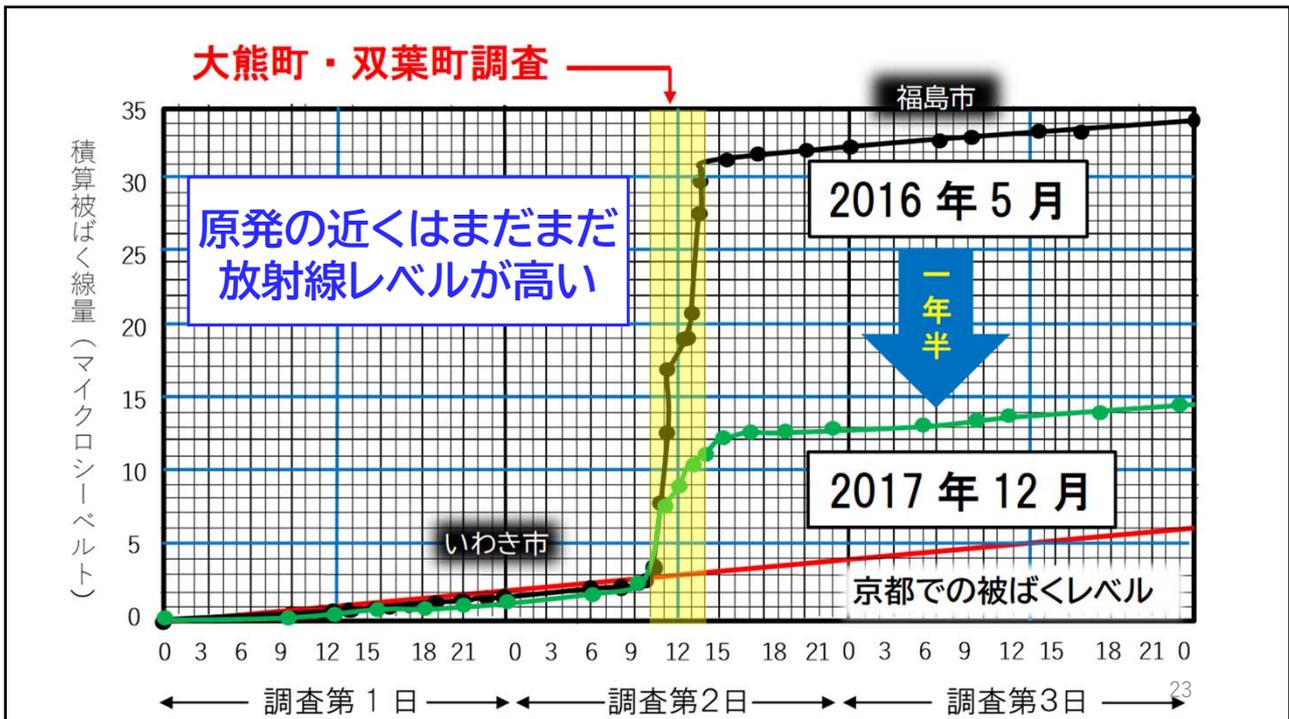
放射能を消す薬はないが、被ばくを減らす方法はある

21



原発の主な地元
大熊町
双葉町
浪江町

1棟約30,000個を保管できる廃棄物中間貯蔵施設

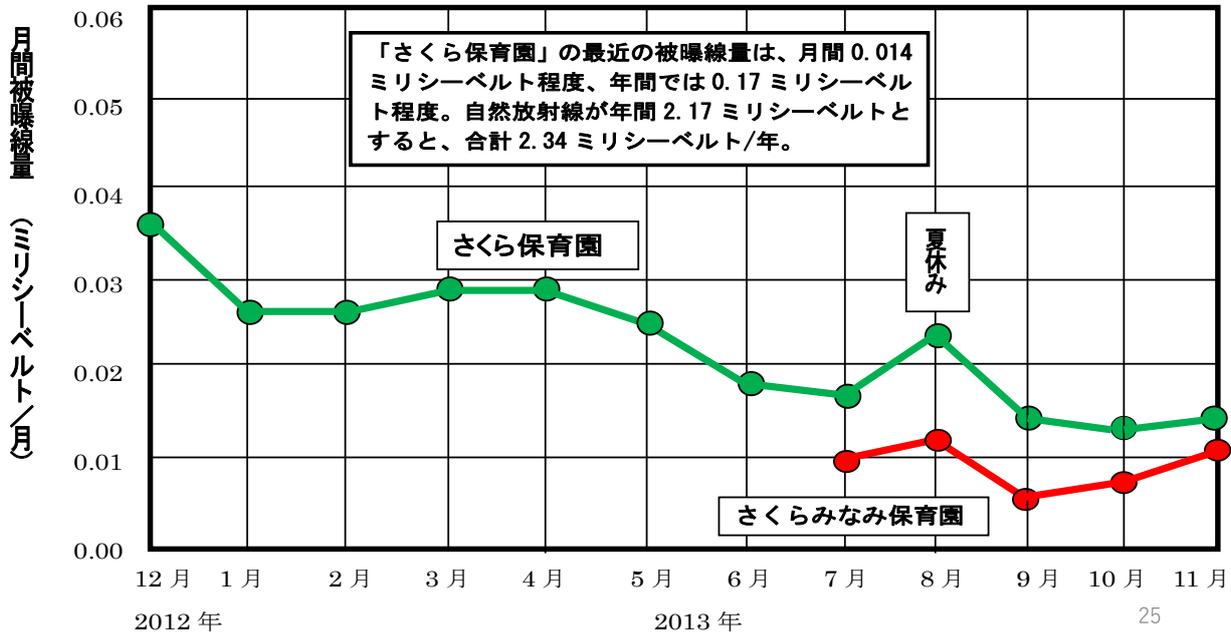


さくら保育園児の 被曝線量を 1年間測定してみました

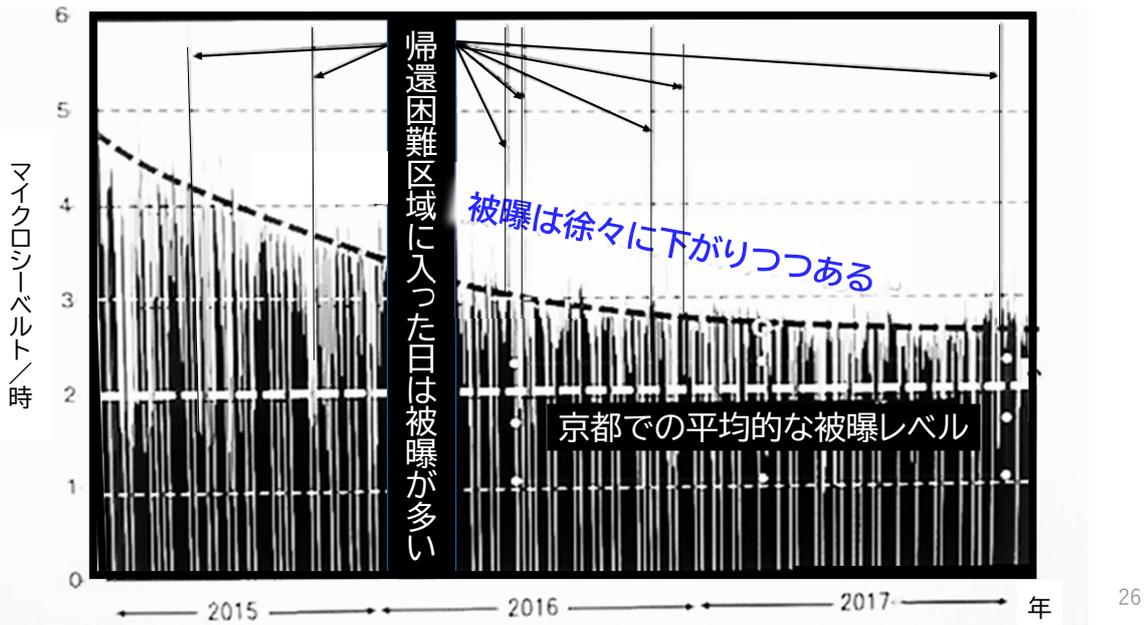


100人の園児にクイクセルバッジという個人被曝モニターを寝ても覚めても合計1年間つけてもらった。

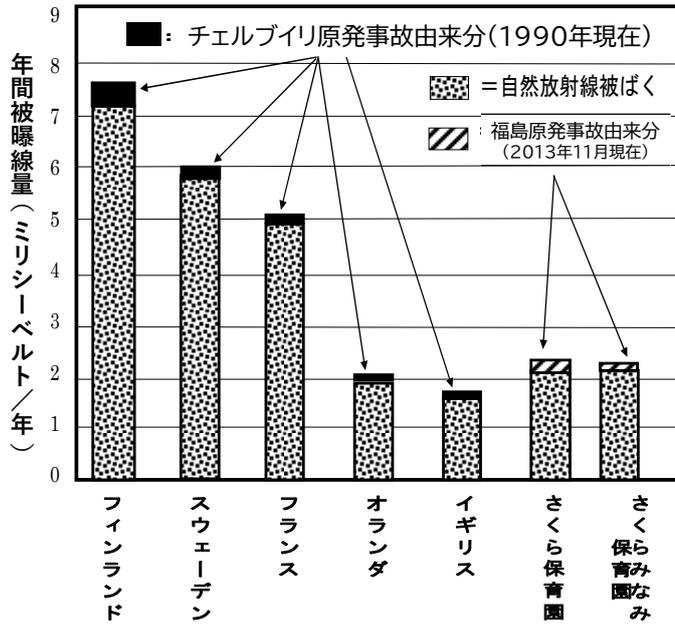
保育園関係者の原発事故に起因する平均月間被曝線量



檜葉町・宝鏡寺の早川篤雄住職の被曝線量の推移



福島の人たちの被曝はどのくらいなのかな？



結果は、福島的生活者の被曝は、左のグラフのように、ヨーロッパの人々の自然放射線被曝に比べても、幸い、そう高いわけではないことが分かりました。

福島市内の保育園

スウェーデンのINMP理事からのメール

驚きの空気中ラドン濃度

ウプサラ平和博物館

P | dsr ar j lv iruqrwuhwkuqlj vrrqhu l
 Z run kdv ehq h{whp hq| fkd r w f œw ;
 z hhnv l O d w g d | e h i r u h F k u l w p d v e u d n z h
 i r x q g r x w w k d w w k h d y h o r i U d g r q h j d v z d v
 p r u h w k d q 4 3 w p h v r y h u d œ r z h g œ p l w d w
 r x u œ f h l q X s s v d œ f d w h l P | r i i l f h w k d w l
 z r u n h g i r p k d g p r u h w k d q 5 3 3 3 e t 1 D q g
 l w d s s h d w l w e h q w k h v œ p h v l q f h z h
 p r y h g l q 5 3 4 4 1 Z h k d g w r h y d f x d w h
 l p p h g l w h c / z r u n d a g d i h v l q f h l v s u h w |
 w u d q j h l Z h k d y h q r z i r x q g d w h p s r u d |
 r i i l f h e x w r x u h { k l e l w r q v h f w i r q l v f o r v h g
 d a g r x u s h g d j r j l f d o z r u n l v s d w i d œ f o r v h g
 l q g h i l q l w h d l

E h w z l v k h v /

M v s h u P d j q x v v r q

2020.2.20

返事が遅れたことをお詫びします。

この8週間、仕事は非常に混乱していました。クリスマス休暇の前日、**ウプサラ城にある私たちの職場**では、ラドンガスの濃度が許容値の10倍以上であることがわかりました。**私が働いていたオフィスでは2000ベクレル/m³を超えていました。**2011年に移転してからも同ような状況が続いているようです。私たちはすぐに避難しなければなりませんでした。その後の仕事や生活はかなり奇妙なものです。今は仮のオフィスを見つけましたが、展示部門は閉鎖され、教育的な仕事も一部無期限に閉鎖されています。

ご多幸を祈ります。

ジェスパー・マグヌソン

日本の平均ラドン濃度
15~17 ベクレル/m³

小児甲状腺がん:経過をよく観察しよう

必要時にはいつでも医療を受けられる体制づくりを

内部被曝は総じて少ないと推定された

初めての例なので、他県のデータが欲しかった

検査実施結果（県）

※預託実効線量：概ね一生涯に体内から受けると考えられる内部被ばく量

1ミリシーベルト未満	330,824人	
1ミリシーベルト	14人	
2ミリシーベルト	10人	
3ミリシーベルト	2人	

環境省は、青森県、山梨県、長崎県の3県で行なった、3～18歳の子供を対象にした甲状腺検査の結果を2014年3月28日に発表し、甲状腺がんの発生率が福島県とほぼ同じだったことを発表した。福島第一原発事故による放射能汚染で、福島の子供の甲状腺がんが増えるとの懸念もあったが、その割合は他県とほぼ同じだった。

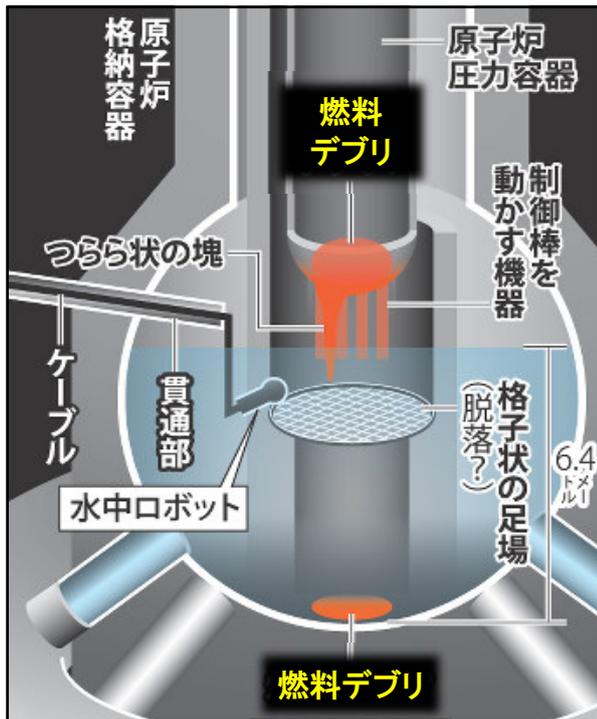
甲状腺がんは比較的「たちのいいがん」として知られる。「がん＝致死性」と決めつけずに、「経過観察を踏まえて必要に応じて医療措置を施すこと」も合理的な選択肢であり、乳幼児期の検査結果に基づいて「がん患者」というレッテルを貼るようなことをせず、被災者の希望に応じた心身のケアを無償で提供する社会的仕組みを確立することが期待される。

29

いま、大切なことは？

- ① トンデモ放射能を抱え込んだ事故原発の廃炉の見通し
- ② 帰還困難区域など高汚染地域の除染の見通し
- ③ 福島県民の被ばくについての科学的理解
- ④ 根拠のない「風評被害」の克服
- ⑤ エネルギー政策の未来

30



高放射能デブリ

福島第1原発3号炉(推定)

<https://mainichi.jp/articles/20170722/k00/00m/040/114000c>

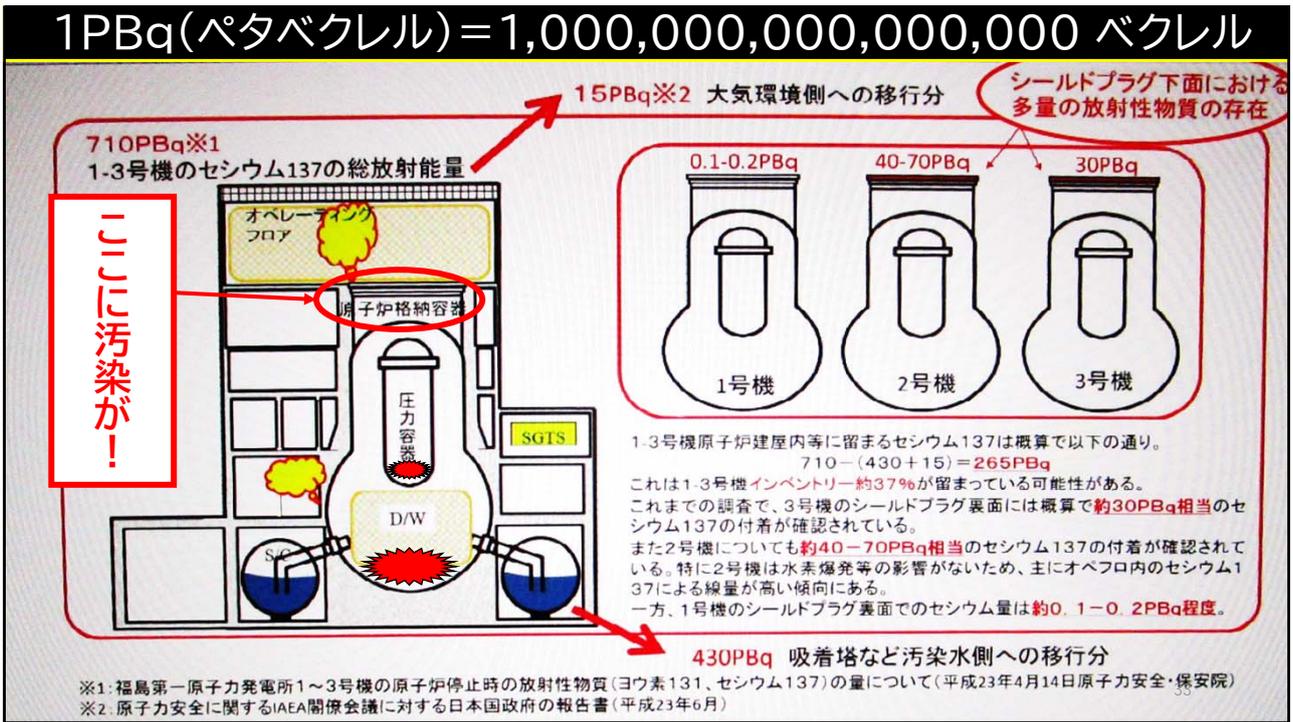
「燃料デブリ」とは、溶けた核燃料と原子炉内構造材が混ざりあって固まったもの。福島原発の廃炉のためには「燃料デブリ」は取り除く必要がある。

「2022年に廃炉作業を始める」と伝えられるが、事故原発の内部の状況がよく分かっていないので、予定通り始められるかはなお不明だ。

伝えられるところでは炉内の放射線環境は70シーベルト/時超といわれるが、放射線の致死線量は約7シーベルトだ。

取り出した高放射性デブリをどう処理処分するのか、デブリを取り出した後の高汚染原子炉施設をどう処分して廃炉を実現するのか、など見通しがつかない。







ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ伝言館 館長／早川篤雄、副館長／安齋育郎、桂川秀嗣



日本に原発が54基も増えた背景

- ① 「平和のための原子力」の美名の下でのアメリカの対日エネルギー戦略
- ② 対米従属的な原子力政策を受け入れ、推進した日本の政治家と政府
- ③ 政府と結託して傲岸な態度で原発を推進した電力資本と財界
- ④ 実証的な安全性をないがしろにしたまま、原発を認可した官僚機構
- ⑤ それに従属・協力して「安全性」にお墨付きを与えた「御用学者」
- ⑥ そのようにして作られた「安全神話」を垂れ流したマスコミ
- ⑦ 交付金欲しさに原発誘致にのめりこんだ地方自治体
- ⑧ 地縁・血縁のしがらみの中で原発推進組織に巻き込まれた一部の人々
- ⑨ 政府に対する独自のチェック機能を果たせなかった司法の実態



「国民総動員・原発推進翼賛体制」が築かれ、
専門家も相互批判力のない独善的な原発推進体制に巻き込まれ、
破局に向かった

原発に頼り続けるのか、よく考えよう

原発問題を国政マターに

- 電気をつくる方法には、水力発電、風力発電、火力発電、原子力発電、太陽光発電など、いろいろあります。
- 日本は、火力発電のための石炭や石油やLNG(液化天然ガス)、原発のためのウランなどは輸入に頼っています。
- どの発電方法に頼るのが私たちにベストなのか、よ～く考えてみましょう。